

HTK 通信

通巻 1408 号(1989 年 4 月 6 日第 3 種郵便物承認)
 2018 年 11 月 11 日 NO. 414 毎月 1、11、21、25 発行
 発行 広島聴覚障害者定期刊行物協会
 編集 特定非営利活動法人広島県手話通訳問題研究会
 〒732-0052 広島市東区光町 1-11-5-508
 電話(082)568-6770 FAX(082)568-6771
 HP <http://hirotsuiken.com/>
 e-mail hirotsu-ken@nifty.com

2018 年 11 月の通信

- p.1 防災を考える
 p.2~3 今からでもええやん
 p.4 中部ブロック学習会 手話を考える
 p.5 東部ブロック 屋の学習会
 p.6 伝承班 手話甲子園
 p.7 東部 夜の学習会 p.8 非常時の調理
 p.13 コミュニティ通訳を学ぶ p.佐伯ブロック
 学習会 p.15 平和と手話通訳を考える
 集い p.16 カレンダー

広通研の防災講座を開催しました

理事 小山秀樹

もし、災害が起つたら…、避難所の生活が必要になつたら…、いざというときのために「ひろしま防災Jカード」「避難所運営ゲーム(HUG・ハグ)」を使って学習会を開催しました。会場は広通研事務所、参加者は9名でした。

防災Jカードを使つての研修は、「ひろしまJプログラム」トレーナーの山本理事による進行です。

初めにチェックリストで避難所や避難場所、避難経路を知っているか？食料や懐中電灯などの備えはあるか？家具の固定はしてあるのかなどの確認を行いました。避難所は知っているけど家族間の連絡

方法の確認はしていないなど全部の準備ができていない人はいませんでした。

防災Jカードには、災害時の場面とその時の行動が3パターン書いてあります。このカードを読み上げ、自分が適切と思う行動をじゃんけんするように同時に発表します。そして、自分がなぜその行動を選んだのか説明し意見交換します。

地震の後、母親である自分が家具の下敷きになつて動けないとき、子供は



そこにいさせるのか、子供だけで避難させるのか、助けを呼びに行かせるのか。その場面や状況により変化するので正解はありませんが、被災したときの行動について考えることができました。

「避難所(H)運営(U)ゲーム(G)」は、受講経験のある松本理事の進行で行われました。静岡県が開発したシミュレーション型の研修です。設定された災害の中で「ある市の避難所運営を任された」という想定の下で、次々にやってくる避難者の状況や要望を考慮しながら、迅速かつ適切に対応する術を学ぶゲーム様式の教材です。

研修者はグループに分かれます。最初に避難所(小学校)にやってきました住民として、次々

にやってくる避難者にどう対応するかを考え、見取り図に配置していきます。赤ちゃんのいる家族、高齢者、心臓病や下痢など病気の人、車いすの人、ろう者、外国人、ペットと一緒に人も避難してきます。一人ひとりを体育館が教室か、体育館なら奥なのか入り口の近くなのか振り分けます。あわただしく対応している最中に、臨時トイレの設置場所を決めるように求められたり食事が届けられたりします。

ゲームが終了した後、配置を見ながら振り返ります。体育館の中には通路を考えた配置が必要だったのでは、ベットのいる人は分けた方が良いのではないか、小さい子供がいる家族だけをまとめた方が良いのではないかなど話し合いました。

HUGゲームをとおして、避難所の運営や自分たちがどう行動するのか考えることができました。同時に、地域に多様な人たちが住んでいることを改めて感じた研修となりました。また同じ研修会があれば参加したいと思えます。

緑り返し行うことで課題や対策について考える力をつけていきたいと思う研修会でした。講師の理事さんありがとうございました。



「今からでもええやん」
質問に答えて

西部ブロック 河合知義

ちよつと古い話にはなりませんが、9月2日に福山で「今からでもええやん」とお話しさせていた際に、いくつかのご意見・感想をいただいていた。

以前は僕自身、「刑務所にいる人は恐ろしい怖い人だ」と思っていました。8年ほどの仕事の中でそれは違ふと考えるようになったんですが、同じように感じてくださったことにまず感謝です。

なにごとともまず知ることから始まると思います。刑務所では「矯正展」というのを開いています。主に製作品の販売

などですが、刑務所の中の様子もほんの少しだけ知ることができます。僕は先日広島拘留所の「ひろこう祭」に行き刑務所で作っている大きな「コッパン」を2個100円で買ってきました。孫が遊んでいる遊具にもいくつか刑務所製品があります。機会があればぜひこんな催しにも出かけてください。新しく発見することがたくさんあります。



学校教育のことにつなげて

感想をくださった方もおられました。今「発達障害」のことは学校で随分と取り上げられるようになりました。でも、子ども一人ひとりの個性を生かしての教育とはなかなかいきません。学校のシステムやカリキュラムのこともあるでしょう。クラスの人数を減らすだけでも随分と教師もゆとりを持って子どもと関われるのではないのでしょうか。保育園や幼稚園…と本当にいろんなことにつながっています。

刑務所へ入っても出所すればもう罪は償っているのですが、どうしても周りはそうは見えてくれません。ひっそりとそんなことがバレないように生活しているのです。だから僕たちは出会うことがないのかもしれない。

ません。

出所後の生活施設についての「ご意見もたくさんありました。」

あなたはご自身のこれからの暮らすところについてどうお考えでしょうか。施設ですか？病院ですか？あるいは「今暮らしているこの街で」でしょうか？

刑務所から出てくる人もおなじです。街の中で暮らしていただきたいんです。地域生活定着支援センターのスタッフもまずは街の中で探していきます。ただ、高齢者や障害を持つ人にはなかなかアパートも貸してもらえません。まして保証人を探するのが大変です。

次の住まいが決まるまでの間、住居を提供してくれるの

が更生保護施設や自立準備ホーム(どちらも出所した人に宿や食事を提供してくれるところです)。でも広島県に更生保護施設は一つ、定員は40名ほどです。

犯罪と関わってしまった人を支えることは新たな被害者を生み出さないことともつながります。

最近では保育所や児童相談所の建設にも「反対!」必要だが「ここには作るな!」などの意見がわんさかわんさか巻き起こります。

広通研の会員や通信を読んでおられる方にぜひお願いしたいのは、「どうして」と考えてくださることです。

僕たちが色々と社会に関心を持ち続けることから誰もが暮らしやすい街づくりが始

まっていきたいと思います。



「手話通訳学」入門
改訂版 2,160 円

中部ブロック 研究誌を読む会開催

中部ブロック 小山秀樹

10月4日高屋地域福祉センターで研究誌(145号)を読む会を開催しました。参加者は4名でした。

研究誌は手話通訳のことだけでなく福祉や制度まで広く学べますが、文字の量に圧倒されて、つい積読になってしまいます。でも、みんなと一緒に読むことで自分では読まなかつたところが読めたり新しい発

見があつたりします。

「研究誌を読む会」としての集まりなのですが、参加された方が全日ろう連の『立法と調査』掲載「日本語と日本手話 — 相克の歴史と共生に向けて —」に対して当連盟の反論レポートと、その反論対象となった「日本語と日本手話 — 相克の歴史と共生に向けて —」(立法と調査)2017.3 No.386山内一宏)を持つていられていたのと一緒に読んでみました。

この反論レポートは、全日ろう連のHPや日聴紙4月号にも掲載されたものですが、全日ろう連の「手話」に対する考え方が小中副連盟長の体験談と共にわかりやすく書いてありました。

全日ろう連は、「日本手話」

「日本語対応手話」というように分けて考えるのではなく「手話」を一つの手話として主張していると書いてあります。その説明の中に英語と比較するものがあつて「なるほど」と思ったので一部引用します。

「これはあたかも英語を習う聞こえる人と同じ状況と言えます。(中略)英語をマスターできず日本語的な英語表現をする人もいます。この場合、英語力が問われる話のレベルであつて、日本語対応英語とは言いません。同様に連盟は成人してから手話を学ぶ人たちの手話表現について、英語力が不足しているのと同じように、手話が流ちょうでないと思っただけであり、ことさら「日本語対応手話」という言葉を使うことはしておりません。」

私も早く手話力を高めて「手話が流ちょうになりたいなあと日々思っています(…:がなかなかです)。

今回は、研究誌はクロスワードパズルしかありませんでしたが、146号も、「あーだ」「こうだ」と言いながらみんなで読みたいと思います。日程決まりましたら通信に載せますので是非ご参加ください。



手話・言語・コミュニケーション 3・5
各 1944 円

カレンダー 2018年11月号通信

11/10(土)	手話通訳フォーラム 2018	廿日市市 あいプラザ	12時45分～17時
11(日)	〃	〃	9時半～12時半
13(火)	伝承班 学習会	手話センターひろしま	19時～21時
15(木)	中部ブロック昼の学習会	東広島市総合福祉センター	10時～12時
16(金)	中部ブロックビデオを見る会	東広島市高屋西地域センター	19時～21時
17(土)	西部ブロック土曜夜の学習会	手話センターひろしま	18時半～20時
〃	東部ブロック昼の学習会	福山市市民参画センター	13時半～15時半
18(日)	自主学習会	手話センターひろしま	10時～12時
19(月)	西部ブロック月曜 朝の学習会	手話センターひろしま	10時半～12時
21(水)	東部ブロック夜の学習会	福山市市民参画センター	19時～21時
22(木)	手づくりの会	手話センターひろしま	10時半～12時
〃	西部ブロック運営委員会	手話センターひろしま	18時半～20時
〃	中部ブロック医療班学習会	東広島市総合福祉センター	19時～21時
26(月)	佐伯ブロックビデオ学習会	廿日市市 あいプラザ	19時半～21時
27(火)	東部ブロック医療班学習会	福山すこやかセンターVルーム	19時半～21時
〃	伝承班 市ろう協と打合せ	手話センターひろしま	19時～21時
12/8(土)	理事会	手話センターひろしま	10時～12時
〃	平和と手話通訳を考えるつどい	東区地域福祉センター	13時半～15時半
12(水)	伝承班熊本ろう学校修学旅行	広島市平和資料館	14時30分～
13(木)	中部ブロック医療班学習会	東広島市総合福祉センター	19時～21時
15(土)	東部ブロック昼の学習会	福山市市民参画センター	13時半～15時半
19(水)	東部ブロック夜の学習会	福山市市民参画センター	19時～21時
20(木)	中部ブロック昼の学習会	東広島市総合福祉センター	10時～12時
21(金)	中部ブロックビデオを見る会	東広島市高屋西地域センター	19時～21時

HTK (通巻 1408 号) 通信 414 人
 発行 広島聴覚障害者定期刊行物協会
 編集 特定非営利活動法人
 広島県手話通訳問題研究会
 広島市東区光町 1-11-5-508
 電話 082-568-6770
 FAX 082-568-6771

年間購読料 2000 円(一部 200 円)正会員の購読料は会費に含む

◇寒くなってきました。
 手話通訳者、講師研修会にご
 意見ご希望をお寄せくださ
 い。
 ◇これからもいろいろな行事、
 研修会があります。参加して
 ください。